

2020年3月期

(2019年度)

第2四半期

決算概要

2019年10月25日

リコーリース株式会社

Intentionally blank



1. 2020年3月期 第2四半期 連結業績報告
2. 2020年3月期 連結業績予想
3. 参考資料

1 . 2020年3月期 第2四半期
連結業績報告

- 営業資産の積み上げと質の改善を継続、売上、各利益いずれも過去最高を更新
- 「稼ぐ力」の向上と同時に、事業基盤強化への投資を継続
- 1株当たり配当金（中間）は、期初予想のとおり45円とする

売上高 : 1,657億円(+6.7%) 10期連続増

売上総利益 : 176億円(+9.5%) 2期連続増

営業利益 : 90億円(+4.9%) 2期連続増

経常利益 : 90億円(+4.1%) 2期連続増

四半期純利益 : 62億円(+4.2%) 2期連続増

営業資産残高(実質) : 9,760億円 (+541億円)

1株当たり配当金（中間） : 45円 (+5円)

1株当たり配当金（年間） : 90円 (+10円) 25期連続増配予定

- 売上高、各利益ともに通期予想に対し、順調な進捗
- 販売費及び一般管理費は、事業基盤（人的リソース、ITインフラ）強化に向けた投資と貸倒費用により増加

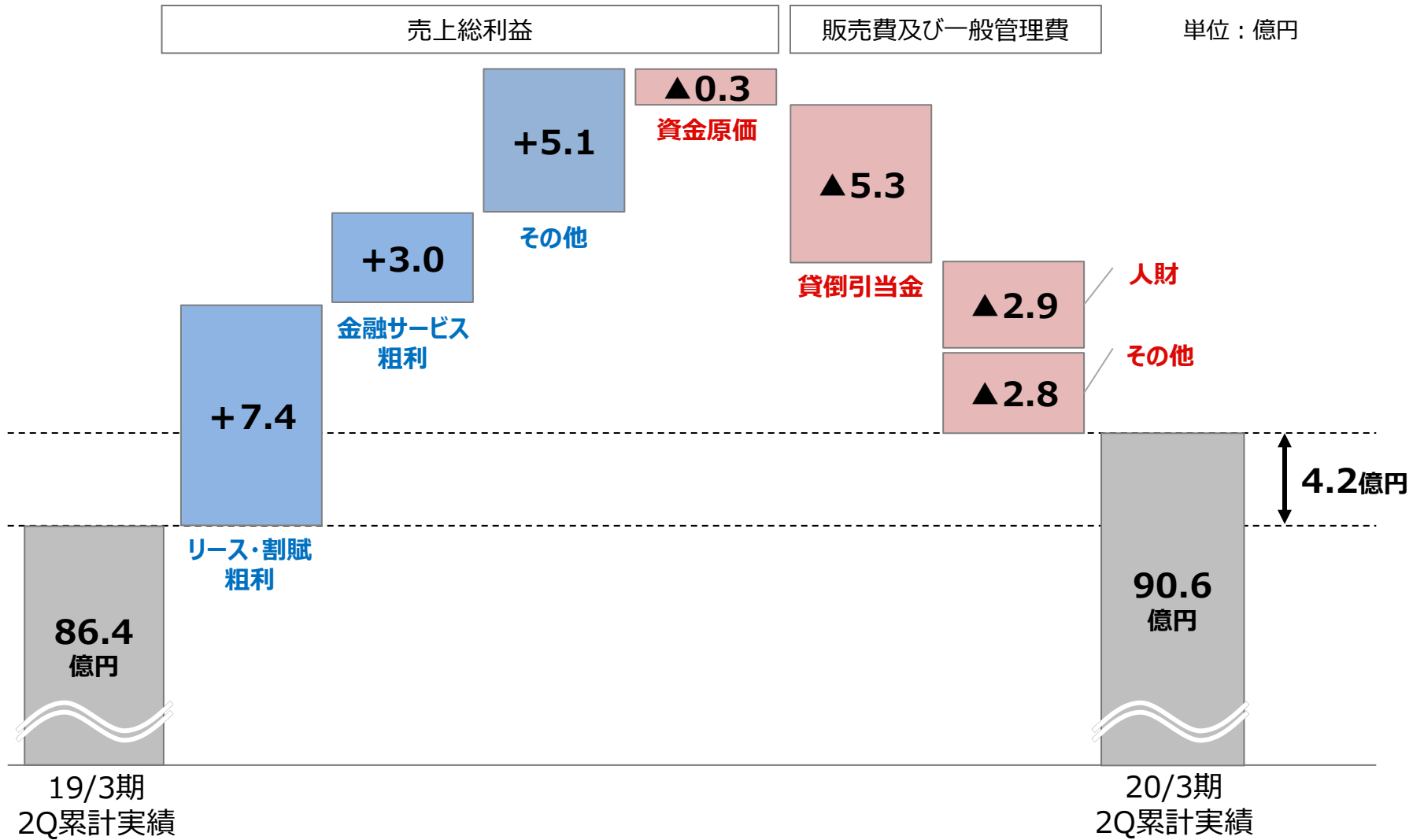
単位：億円

	19年3月期 2Q累計実績	20年3月期		20年3月期 期初通期予想	進捗率
		2Q累計実績	伸率		
売上高	1,554	1,657	6.7%	3,214	51.6%
売上総利益	161	176	9.5%	345	51.2%
販売費及び一般管理費	75	86	14.7%	168	51.2%
営業利益	86	90	4.9%	177	51.2%
経常利益	87	90	4.1%	174	52.1%
当期純利益	59	62	4.2%	120	52.0%
			前年差		
1株当たり配当金（円）	40.00	45.00	5.00	90.00	—
1株当たり純利益（円）	191.84	201.56	9.72	384.41	—
配当性向	20.9%	22.3%	1.4%	23.4%	—
ROA（総資産当期純利益率）	1.21%	1.16%	△0.05%	1.12%	—
ROE（自己資本利益率）	7.1%	7.1%	△0.0%	6.7%	—

※ROAおよびROEの実績は、年換算した数値を記載

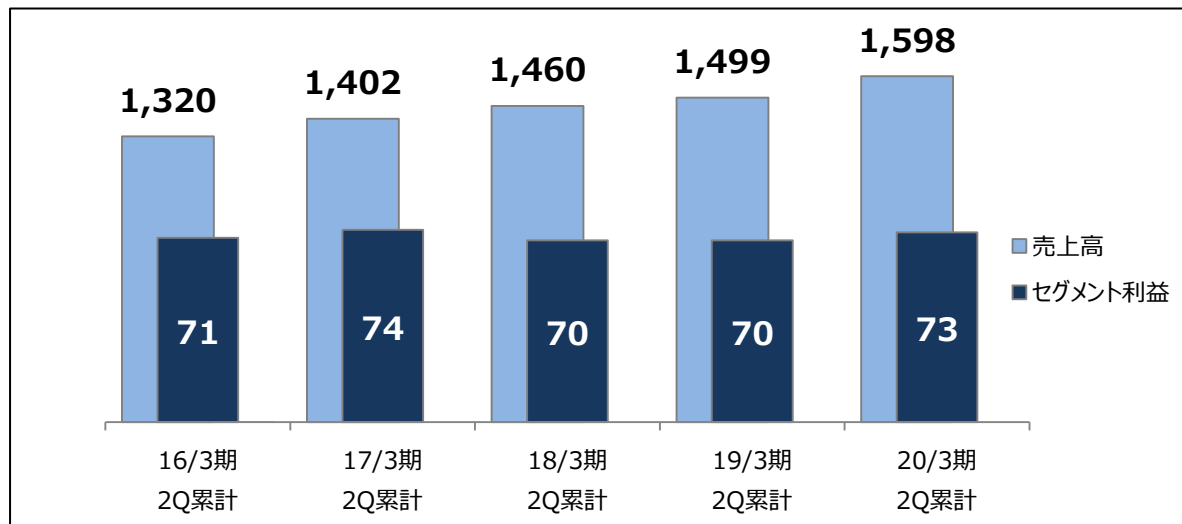


営業利益の前年比増減要因



リース・割賦事業

単位：億円

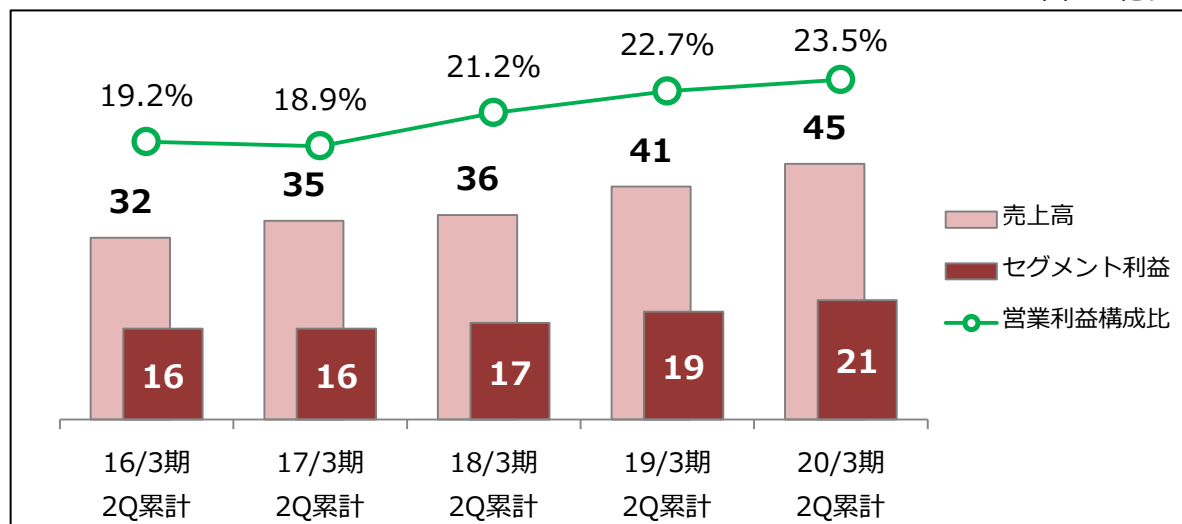


【リース・割賦事業】

- 営業資産の増加と新規契約獲得利回りの改善すすむ
- 貸倒費用の増加を吸収し、増収増益

金融サービス事業

単位：億円



【金融サービス事業】

- 集金代行、医療・介護ファクタリングなどの手数料ビジネスと融資がともに堅調

※営業利益構成比 =
金融サービス事業セグメント利益 ÷ 営業利益

- リース・割賦は、消費増税前の駆け込み需要とOSマイグレーションによる需要が後押し
- 事業投資は、想定通りの進捗

■ 取扱高・事業投資額

単位：億円

	19年3月期 2Q累計実績	20年3月期		20年3月期 期初通期予想	進捗率
		2Q累計実績	伸率		
ファイナンス・リース	1,322	1,567	18.6%	2,700	58.1%
オペレーティング・リース	110	88	△19.8%	190	46.7%
割賦	369	542	47.0%	880	61.7%
リース・割賦 合計	1,802	2,199	22.0%	3,770	58.3%
融資	218	249	14.3%	470	53.1%
取扱高 合計	2,020	2,449	21.2%	4,240	57.8%
事業投資額	24	41	66.1%	107	38.5%
取扱高・事業投資額 合計	2,045	2,490	21.8%	4,347	57.3%

※リース・割賦取扱高は、契約期間中の回収総額

※事業投資額は、資産購入額

- 好調な契約獲得により、営業資産は前期末より541億円の増加

■ 営業資産

単位：億円

	19年3月期 期末	20年3月期		20年3月期	
		2Q末	伸率	期初予想	伸率
ファイナンス・リース	5,651	5,914	4.7%	5,745	1.7%
オペレーティング・リース	290	300	3.4%	305	5.0%
割賦	1,331	1,457	9.4%	1,640	23.2%
リース・割賦 合計	7,273	7,672	5.5%	7,690	5.7%
融資	1,543	1,682	9.0%	1,660	7.6%
事業投資	92	131	42.7%	170	83.8%
その他	63	27	△56.8%	65	3.0%
営業資産合計	8,972	9,513	6.0%	9,585	6.8%
流動化控除額	247	246	△0.1%	250	1.2%
営業資産合計（実質）	9,219	9,760	5.9%	9,835	6.7%

【実績サマリー】

- 事務用・情報関連機器と環境関連機器が全体を牽引
- 加えて、消費増税前の駆け込み需要とOSマイグレーション需要による押し上げで大幅増

【戦略/施策】

- ベンダーとの協業による効率化と差別化の推進
- 社会変化や顧客ニーズを捉えた新規分野の開拓

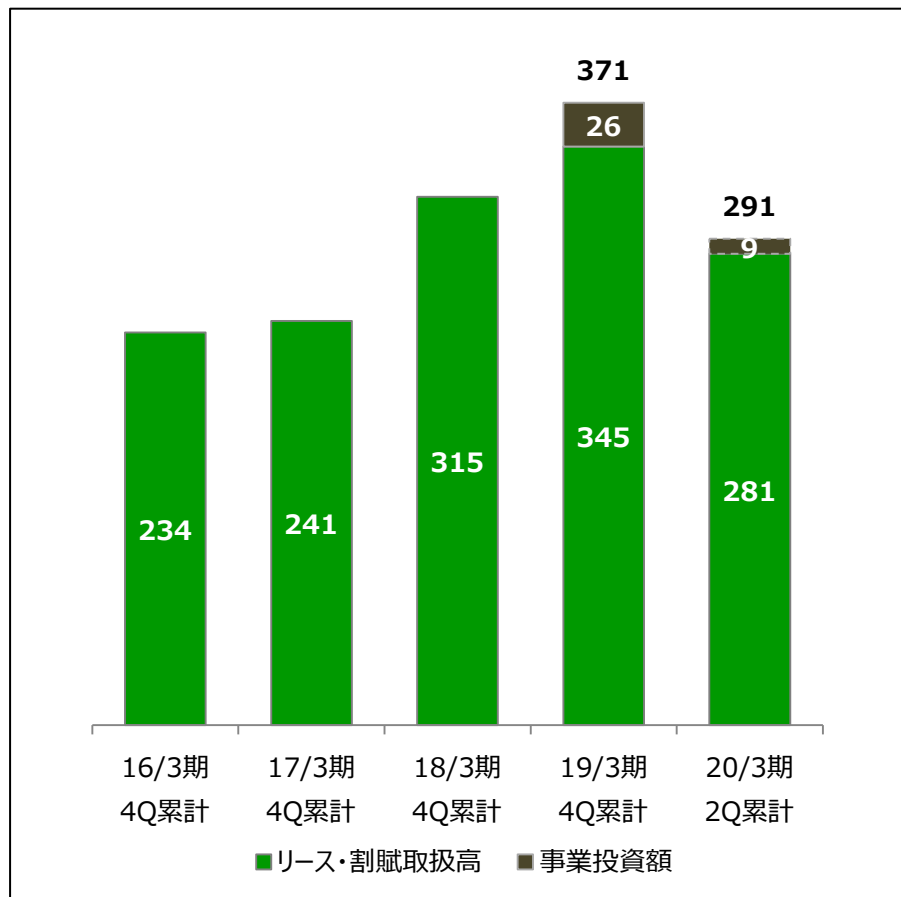
■ リース・割賦取扱高 機種別

単位：億円

	19年3月期	20年3月期		20年3月期 期初通期予想	進捗率	リース事業協会 (4月-8月累計) 伸率
	2Q累計実績	2Q累計実績	伸率			
事務用・情報関連機器	955	1,082	13.3%	1,930	56.1%	15.2%
医療機器	165	197	19.0%	350	56.4%	9.3%
産業工作機械	177	251	41.9%	425	59.2%	18.0%
商業・サービス業用機器	193	184	△4.5%	380	48.6%	2.5%
車両・輸送用機器	105	120	14.3%	235	51.1%	9.6%
その他	205	363	76.8%	450	80.8%	△13.4%
リース・割賦取扱高 合計	1,802	2,199	22.0%	3,770	58.3%	8.4%

■ 環境関連分野 取扱高・事業投資額

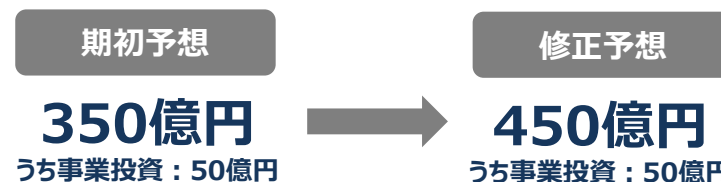
単位：億円



※リース・割賦取扱高は、契約期間中の回収総額
 ※事業投資額は、資産購入額

【実績サマリー】

- 取扱高・事業投資額合計は、前年同期比105.8%増
- 通期予想に対して83%の進捗
- 通期予想を上方修正する

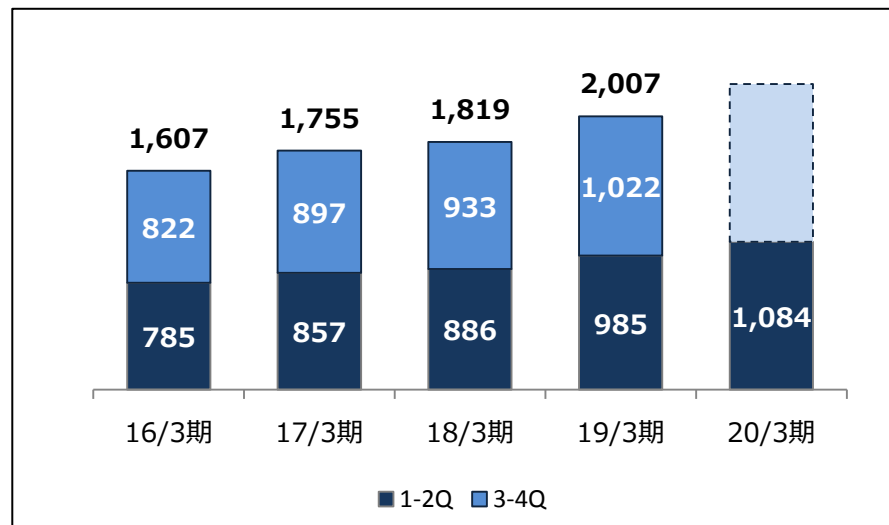


【戦略/施策】

- 採算の確保とリスク保全を図りつつ、営業資産を拡大
- アセット保有形態の多様化（リース・割賦、発電事業）
- セカンダリー案件、屋根置き太陽光案件の獲得

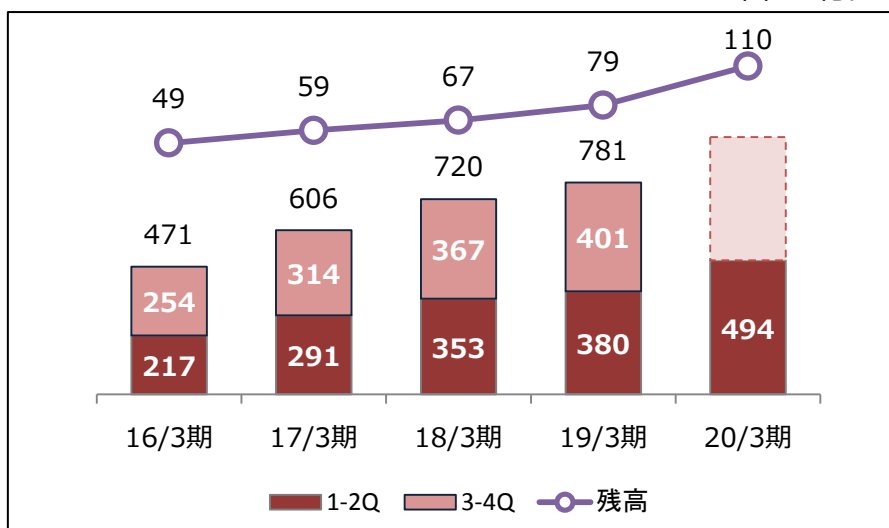
■ 集金代行サービス取扱件数

単位：万件



■ 医療・介護ファクタリング取扱高

単位：億円



【実績サマリー】

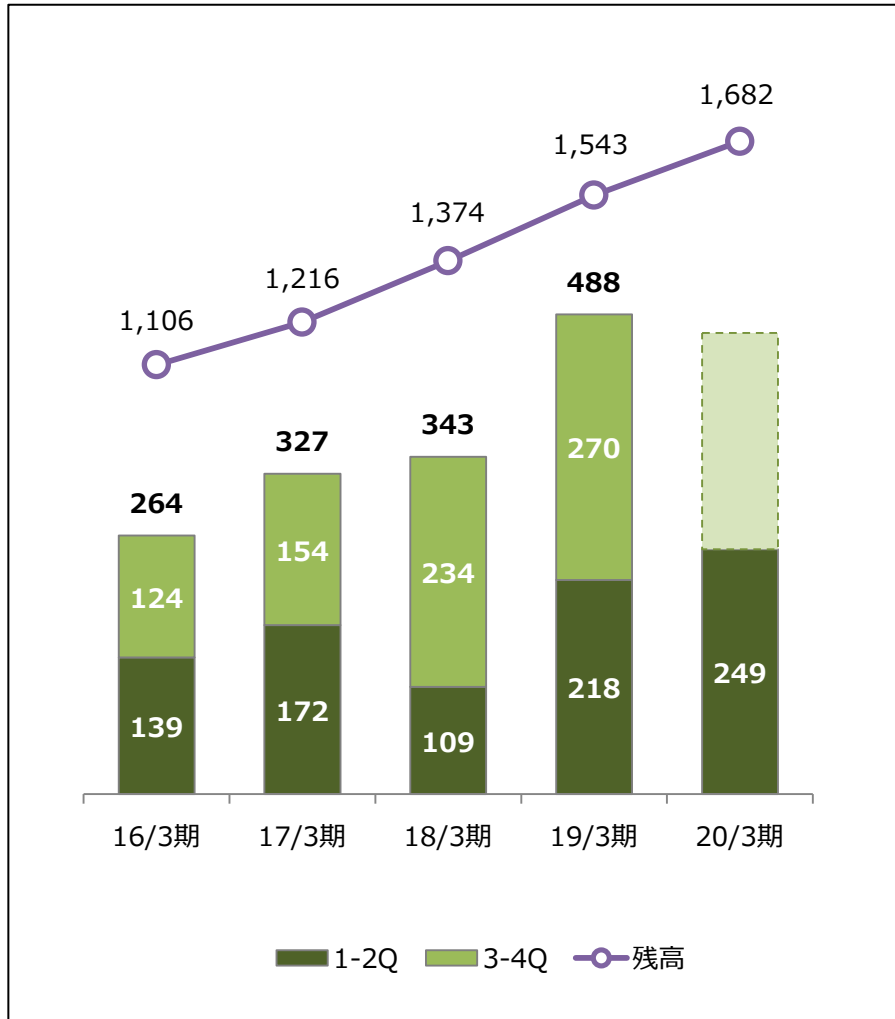
- 集金代行サービス、医療・介護ファクタリングはいずれも利用ユーザー数が順調に増加
- Casaダイレクト、家主ダイレクト（家賃保証付き集金代行）ともに好調
- 医療・介護ファクタリングは、医療（診療報酬）ファクタリングの大口案件の獲得も寄与

【戦略/施策】

- 新商品：早期資金化サービス“RiLTA”のリリース
- BtoBの請求・回収にかかるリスクヘッジ・BPOニーズに幅広く応える戦略的提携
 - － 株式会社ネットプロテクションズ
主要サービス：EC市場における後払い決済サービス
 - － イー・ギャランティ株式会社
主要サービス：売掛金保証サービス

■ 融資取扱高・残高

単位：億円



【実績サマリー】

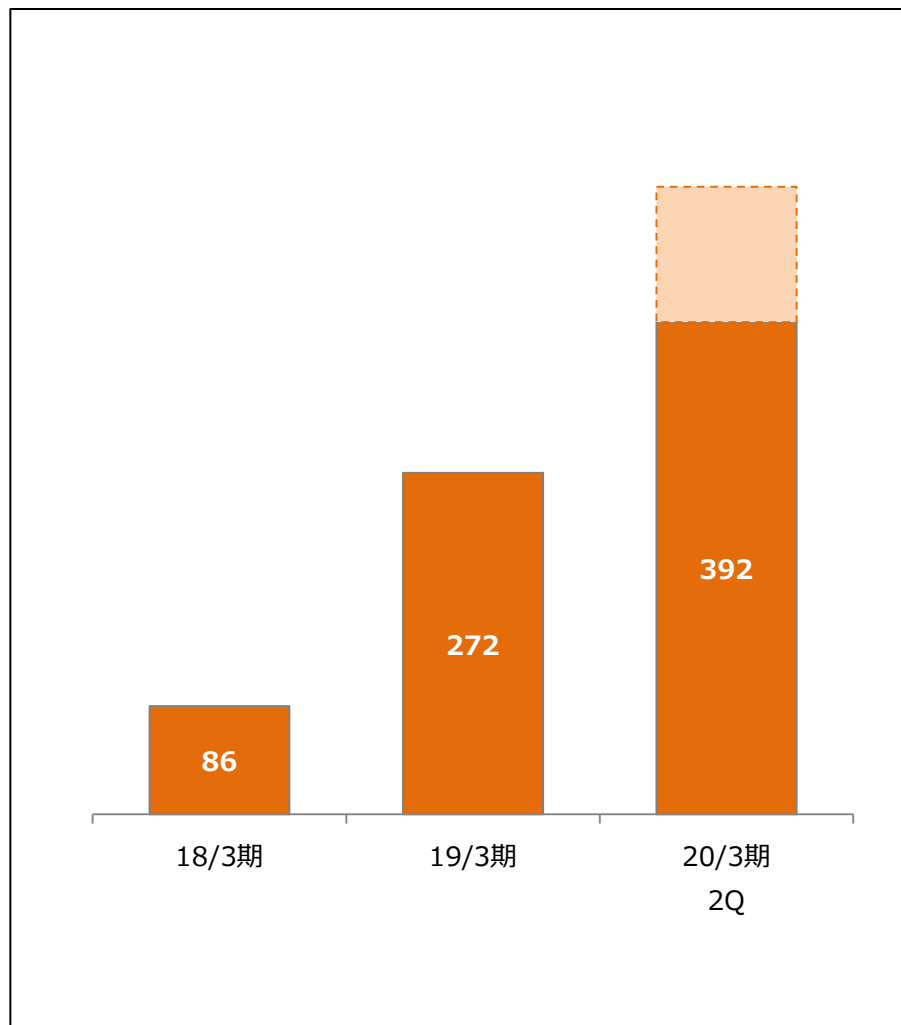
- 法人向け融資が全体を牽引
- 医療分野向けローン、個人向け投資用マンションローンは順調

【戦略/施策】

- 不動産分野向けを中心に優良資産を積み上げ
- 医療分野は、クリニックのみならず病院も強化

■ 住宅賃貸保有戸数

単位：戸



【実績サマリー】

- 保有戸数を順調に積み上げ、低空室率を維持

【戦略/施策】

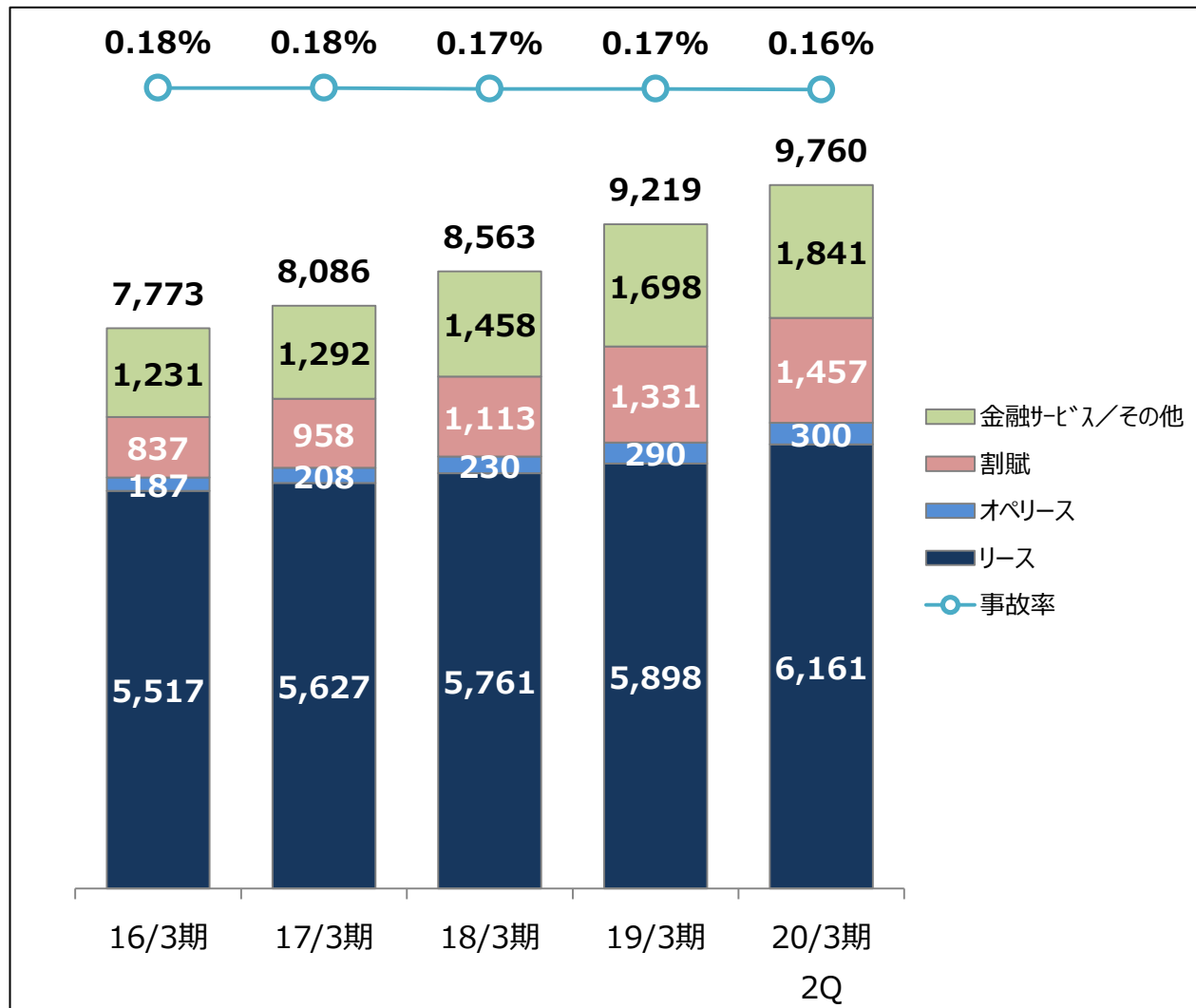
- 保有戸数拡大による着実な収益成長
2020年3月期末 保有戸数目標 500戸
- アライアンスを活用し、社会的課題解決に向けたサービス開発

日本総合住生活株式会社との業務提携

～団地等集合住宅の再生・活性化に向けた取り組み～

- 「団地再生ローン」の取扱い開始
- 団地住戸のリノベーション
- IoT技術を活用した新サービス開発
- サブスクリプション型レンタルサービスの開発
株式会社ピーステックラボとの共同開発

単位：億円

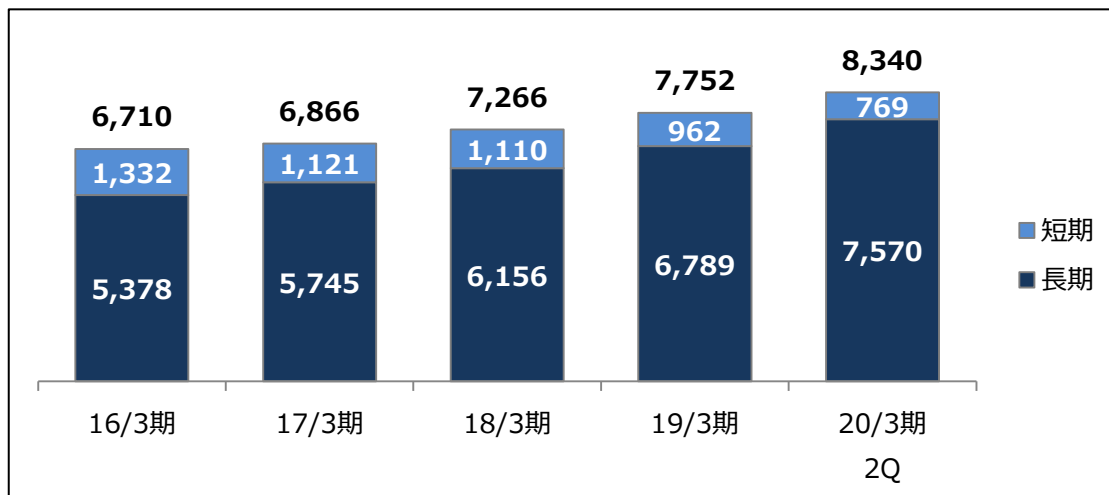


- 営業資産の増加により事故率は低下
- 事故損失額は微増

※事故率 = 事故損失額 ÷ 営業資産平均残高 (20/3期2Qは、事故損失額を年換算して事故率を算出)
 ※営業資産残高はリース債権流動化を控除しない残高を表示

有利子負債残高

単位：億円



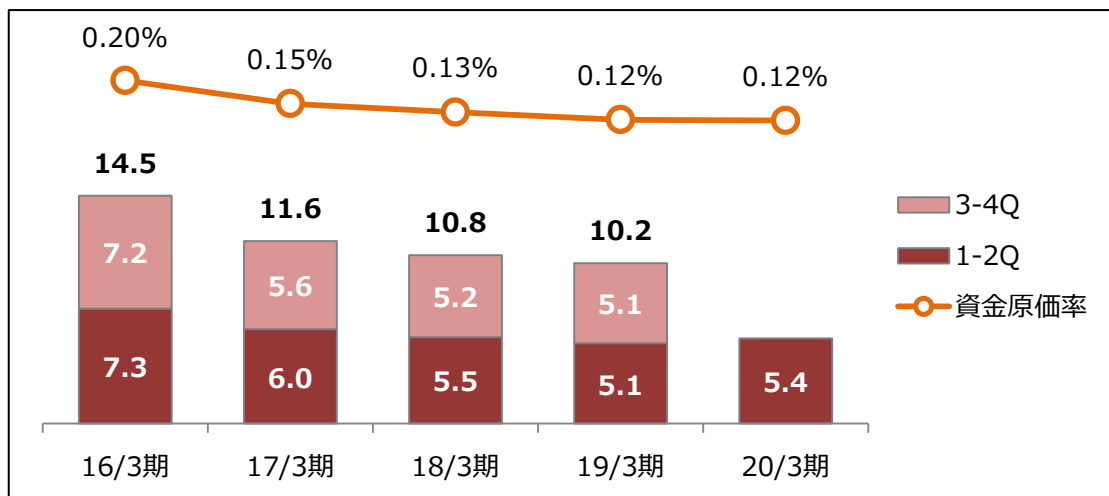
【有利子負債残高】

- 営業資産の拡大及び期間に応じて資金調達

※リース債権流動化による調達（オフバランス）を含む残高を表示
 ※1年以内返済予定の長期債務は長期に含む

資金原価・資金原価率

単位：億円



【資金原価・資金原価率】

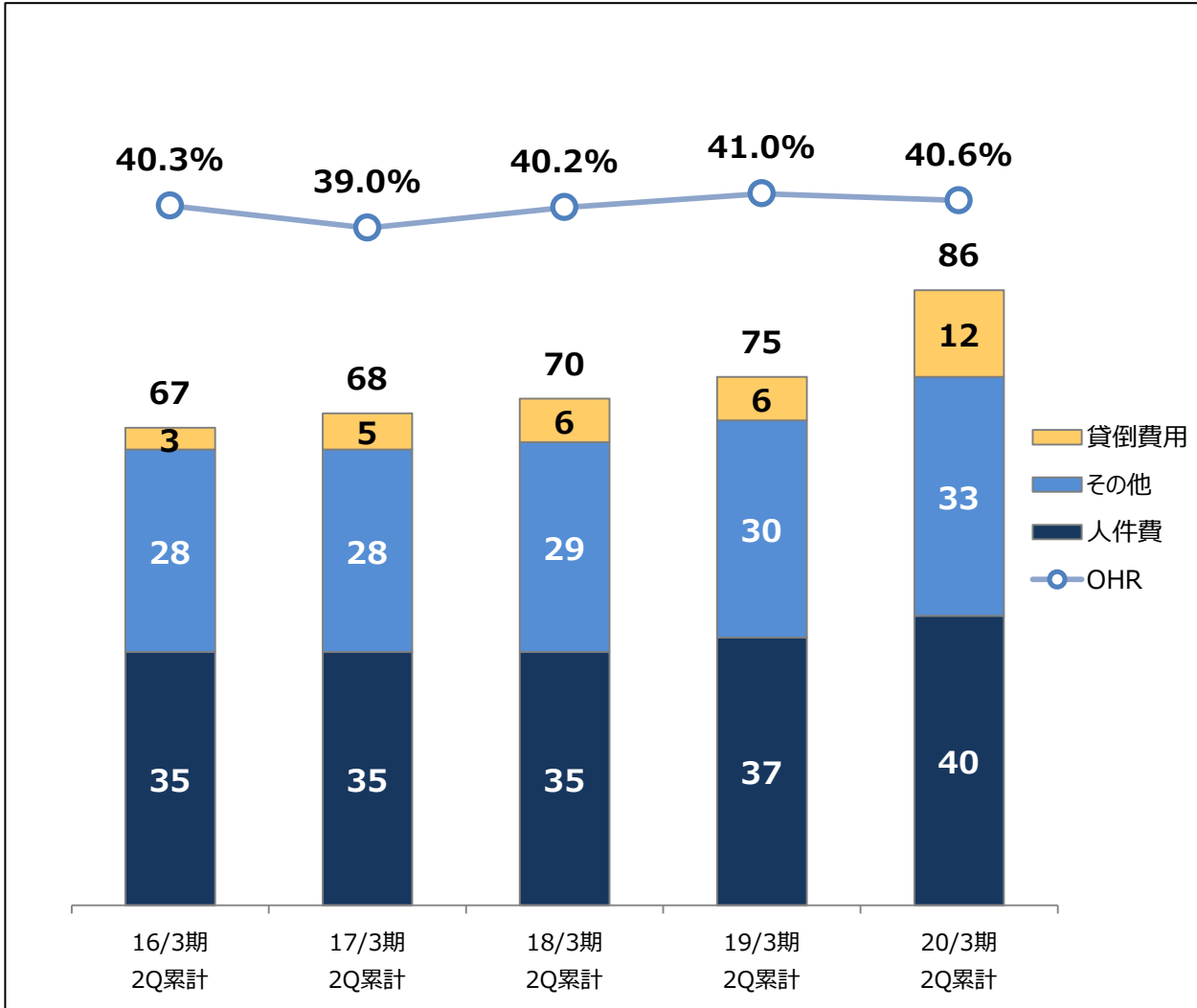
- 低位な資金調達を継続
- 資金原価は微増、資金原価率は横這い

※資金原価率 = 資金原価 ÷ 営業資産平均残高
 ※20/3期2Qは、資金原価を年換算して資金原価率を算出



販売費及び一般管理費

単位：億円



- 貸倒費用は、営業資産の拡大に伴い増加
- 事業基盤（人的リソース、ITインフラ）強化に向けた投資により経費は増加
- 売上総利益の伸長により、OHRは低下

※OHR = (販売費及び一般管理費 - 貸倒費用) ÷ (売上総利益 + 資金原価)

※20/3期1Qより人材派遣費用を「その他」から「人件費」へ振替。グラフ数値は全て振替後の値を表示

2. 2020年3月期 連結業績予想

連結業績予想

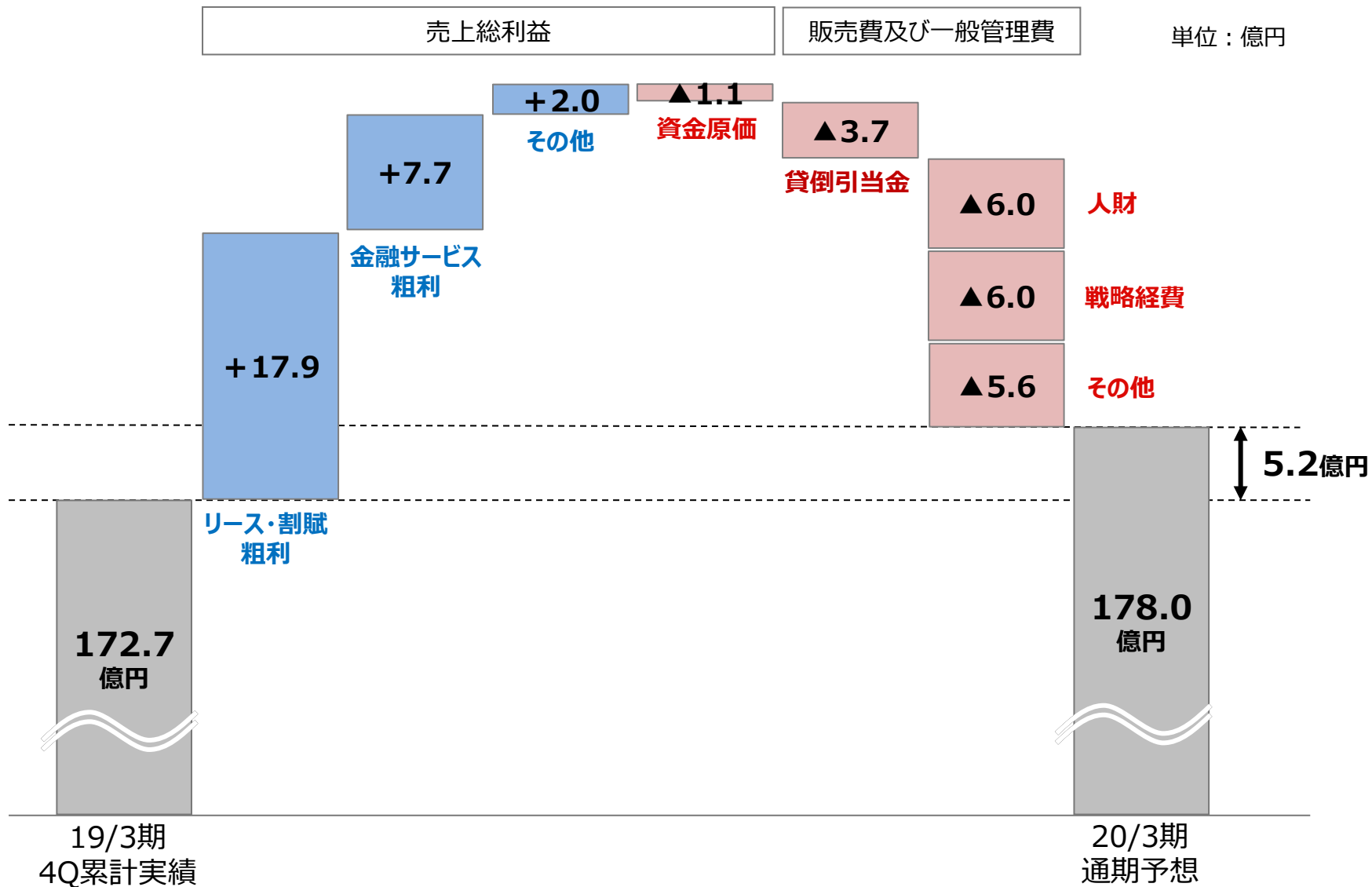
- 当初予想以上の営業資産の増加により、売上高、売上総利益を上方修正
- 事業基盤（人的リソース、ITインフラ）強化への投資を加速する
- 1株当たり配当金（年間）は、期初予想の通り90円を予定

単位：億円

	19年3月期 通期実績	20年3月期		20年3月期		20年3月期 中計目標
		修正予想	伸率	期初予想	伸率	
売上高	3,139	3,291	4.8%	3,214	2.4%	3,200
売上総利益	329	356	8.1%	345	4.7%	335
販売費及び一般管理費	156	178	13.6%	168	7.2%	152
営業利益	172	178	3.0%	177	2.5%	183
経常利益	173	176	1.2%	174	0.1%	—
当期純利益	119	121	1.3%	120	0.5%	123
			前年差		前年差	
1株当たり配当金（円）	80.00	90.00	10.00	90.00	10.00	—
1株当たり純利益（円）	382.60	392.53	9.93	384.41	1.81	—
配当性向	20.9%	22.9%	2.0%	23.4%	2.5%	—
ROA（総資産当期純利益率）	1.19%	1.09%	△0.10%	1.12%	△0.07%	1.30% (中期的目標)
ROE（自己資本利益率）	7.0%	6.8%	△0.2%	6.7%	△0.3%	—
営業資産残高（実質）	9,219	10,305	1,085	9,835	615	9,000

※営業資産残高はリース債権流動化を控除しない残高を表示

営業利益の前年比増減要因 予想



■ 取扱高・事業投資額

単位：億円

	19年3月期		20年3月期			20年3月期	
	通期実績	伸率	修正予想	修正差	伸率	期初予想	伸率
ファイナンス・リース	2,668	0.4%	2,970	270	11.3%	2,700	1.2%
オペレーティングリース	202	27.9%	190	0	△6.3%	190	△6.3%
リース計	2,871	1.9%	3,160	270	10.1%	2,890	0.7%
割賦	861	14.3%	1,070	190	24.2%	880	2.1%
リース・割賦取扱高 合計	3,732	4.5%	4,230	460	13.3%	3,770	1.0%
融資取扱高	488	42.3%	530	60	8.4%	470	△3.8%
取扱高 合計	4,221	7.8%	4,760	520	12.8%	4,240	0.4%
事業投資額	72	244.4%	107	0	49.0%	107	49.0%
取扱高・事業投資額 合計	4,293	9.1%	4,867	520	13.4%	4,347	1.3%

中計目標値
(20年3月期)

リース・割賦取扱高 中計目標値：3,675億円

■ 集金代行サービス、医療・介護報酬ファクタリングサービス、住宅賃貸

単位：億円

	19年3月期		20年3月期			20年3月期	
	通期実績	伸率	修正予想	修正差	伸率	期初予想	伸率
集金代行 取扱件数	2,007万件	10.3%	2,260万件	0	12.6%	2,260万件	12.6%
医療・介護ファクタリング 取扱高	781	8.4%	950	0	21.5%	950	21.5%
住宅賃貸 保有戸数	272戸	216.3%	500戸	0	83.8%	500戸	83.8%

中計目標値
(20年3月期)

集金代行取扱件数：2,500万件

医療・介護ファクタリング取扱高：1,000億円

リース割賦取扱高 機種別

単位：億円

	19年3月期		20年3月期			20年3月期	
	通期実績	伸率	修正予想	修正差	伸率	期初予想	伸率
事務用・情報関連機器	1,906	1.0%	2,080	150	9.1%	1,930	1.2%
医療機器	350	△2.2%	370	20	5.6%	350	△0.1%
産業工作機械	422	2.2%	525	100	24.2%	425	0.6%
商業・サービス業用機器	385	10.5%	380	0	△1.3%	380	△1.3%
車両・輸送用機器	213	30.3%	240	5	12.7%	235	10.3%
その他	455	13.8%	635	185	39.4%	450	△1.2%
リース・割賦 取扱高合計	3,732	4.5%	4,230	460	13.3%	3,770	1.0%

環境関連分野

環境関連分野のリース・割賦取扱高は、上記取扱高の内数

単位：億円

リース・割賦 取扱高	345	9.6%	400	100	15.8%	300	△13.1%
事業投資額	26	—	50	0	88.0%	50	88.0%
取扱高・事業投資額 合計	371	18.0%	450	100	21.0%	350	△5.9%

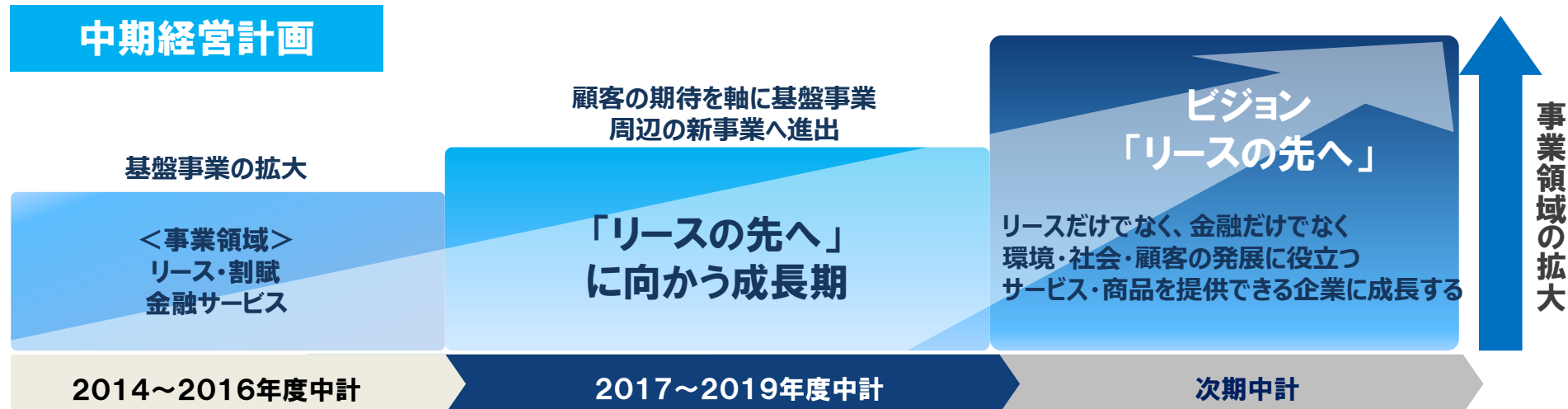
※リース・割賦取扱高は、契約期間中の回収総額

※事業投資額は、資産購入額

中計目標値
(20年3月期)

環境関連分野取扱高：500億円

中期経営計画














事業成長 戦略

1. ベンダーとのアライアンス強化と顧客網の最大活用による揺るぎない営業基盤づくり
2. リース以外の提供価値の創造
3. リコーグループ各社との協業によるリース+サービスビジネスの展開
4. 創エネ・省エネを軸とした新たな環境分野への挑戦
5. 社会の変化に対する課題を解決するための金融サービスの開発と提供


組織能力 強化戦略

1. 多様化するニーズ・サービスに対応し、更なる商品力・業務効率化を追求する
新プラットフォームの構築
2. 社会、市場、働き方の変化に対応した人財マネジメント

経営戦略		「リースの先へ」成長期 施策	
事業 成長 戦略	ベンダーとのアライアンス強化と顧客網の最大活用による揺るぎない営業基盤作り	<ul style="list-style-type: none"> 新規分野の開拓積極的展開 ベンダーとの協業による効率化と差別化による付加価値向上の推進 	
	リース以外の提供価値の創造	<ul style="list-style-type: none"> イー・ギャランティ株式会社との業務提携（売掛金保証） 株式会社ピーステックラボへの出資（C/BtoCレンタルプラットフォーム） 	
	リコグループ各社との協業によるリース+サービスビジネスの展開	<ul style="list-style-type: none"> ベンダーの保守、生産機能などの相互利用 再生可能エネルギー（地方創生、O&M）協業 	  
	創エネ、省エネを軸とした新たな環境分野への挑戦	<ul style="list-style-type: none"> 取扱高、営業資産の拡大（電源の多様化） 発電事業の開始 自家発電用設備へのアプローチ（脱FITに向けて） 	 
	社会の変化に対する課題を解決するための金融サービスの開発と提供	<ul style="list-style-type: none"> 住宅賃貸事業の開始 日本総合住生活株式会社との業務提携（団地再生） 早期資金化サービス“RILTA”の開始 ネットプロテクションズホールディングス株式会社との資本提携 	 
組織 能力 強化 戦略	多様化するニーズ、サービスに対応し、更なる商品力・業務効率化を追求する新プラットフォームの構築	<ul style="list-style-type: none"> 与信業務のAI化 新基幹システム構築準備 	
	社会、市場、働き方の変化に対応した人財マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革：IT・オフィス環境の整備、人事制度の充実 人財強化：人的リソース拡充、成長意欲と能力向上への投資 	    

3. 參考資料

CSR中期経営計画 進捗状況

4つの重要テーマ	特定した13の重要課題	CSR中期経営計画目標（主要取り組み指標）	
		<目標>	<進捗>
元気で強い会社づくり 	ダイバーシティ&インクルージョンの推進	①女性管理職比率 2020年 20% ②介護離職者ゼロ ③障がい者雇用比率 2.5%	①17年度始11.9%→18年度末15.4% ②18年度介護離職者0名 ③16年度末2.03%→18年度末2.0%
	効率的な働き方への改善 ワークライフバランスの実現	①総労働時間 1,700時間未満 ②残業時間 10時間未満 ③有給休暇取得率 100%	①16年1,672時間→18年1,697時間 ②16年度8.0時間→18年度10.2時間 ③16年78.8%→17年84.6%
	人材育成	事業改革に必要なプロフェッショナル人材の獲得・育成計画値達成率 100%	18年度指定資格取得数 前年度比2.56倍 18年度採用計画100%実行
	安全・健康・快適な職場環境の実現	①健康診断受診率 100% ②喫煙率 20%以下	①16年度100%→18年度100% ②16年度23.1%→18年度20.3%
事業を通じた共通価値の創造 	お客様満足の追求	顧客の期待に応え、期待を先取りした事業・商品の研究・開発	サステナビリティレポートにて一部事例紹介
	社会課題の解決と日本経済の活性化への貢献	①金融サービス営業利益構成比 30% ②ファクタリング取扱高 1,000億円 ③集金代行サービス取扱件数 2,500万件	①16年度19.2%→18年度21.3% ②16年度606億円→18年度781億円 ③16年度1,755万件→18年度2,007万件
	グループ各社・取引先とのパートナーシップの強化	グループ各社が持つ強みを組み合わせた新たなサービスやビジネスモデルの創造	サステナビリティレポートにて一部事例紹介
脱炭素社会・循環型社会実現への貢献 	職場マネジメントシステムの継続的な運用・改善	EMS各目標の達成	サステナビリティレポート参照
	気候変動の緩和と適応	①1,022 t - CO2 (2019年度) ②環境関連分野取扱高 450億円	16年度1,089 t →18年度999 t 16年度241億円→18年度371億円
	資源循環	3Rの更なる促進 - 適切な回収・処分による省資源・廃棄物の削減	リース終了物件リサイクル率 16年度88.4%→18年度86.8%
地域社会活性化の支援 	生物多様性の保全	毎年参加人数5%アップ	18年度 前年度比76%アップ
	地域社会への貢献・寄付／復興支援	地域に根ざした社会貢献の実施 - 毎年参加人数10%アップ	18前年度 前年度比13%ダウン
	地域社会との連携	社会貢献重点分野に沿った社会貢献活動の展開 - NPO・NGOとの協業・協同の機会を創出	サステナビリティレポートにて一部事例紹介 協同団体：6団体

連結損益計算書の概況

単位：百万円

	19年3月期		20年3月期		20年3月期	
	2Q累計実績	伸率	2Q累計実績	伸率	修正通期予想	伸率
売上高	155,412	2.8%	165,775	6.7%	329,100	4.8%
リース料収入	114,256	2.9%	117,829	3.1%	236,500	2.7%
割賦売上高	24,563	3.6%	25,537	4.0%	52,500	4.1%
営業貸付収益	1,427	11.2%	1,558	9.2%	3,400	17.7%
受取手数料	2,879	7.7%	3,085	7.2%	6,100	6.5%
その他の売上高	12,285	△1.8%	17,763	44.6%	30,600	23.9%
売上原価	139,265	2.7%	148,100	6.3%	293,500	4.4%
リース料原価	103,901	3.2%	106,615	2.6%	—	—
割賦原価	23,234	3.6%	24,011	3.3%	—	—
資金原価	510	△8.5%	545	6.7%	—	—
その他の売上原価	11,619	△2.7%	16,928	45.7%	—	—
売上総利益	16,147	3.9%	17,674	9.5%	35,600	8.1%
販売費及び一般管理費	7,503	5.9%	8,605	14.7%	17,800	13.6%
うち 人件費	3,786	6.2%	4,076	7.7%	8,300	6.8%
うち 貸倒引当金繰入額	677	9.7%	1,212	78.8%	2,000	22.5%
営業利益	8,643	2.2%	9,068	4.9%	17,800	3.0%
経常利益	8,700	3.9%	9,057	4.1%	17,600	1.2%
当期純利益	5,988	3.9%	6,240	4.2%	12,100	1.3%

※20年3月期1Qより、販売費及び一般管理費のうち、人材派遣費用を「人件費」に含めて算出。これに伴い、前年実績も同基準で算出した数値を記載

■ 売上高

単位：百万円

	19年3月期		20年3月期	
	2Q累計実績	伸率	2Q累計実績	伸率
リース・割賦事業	149,962	2.6%	159,852	6.6%
金融サービス事業	4,106	11.4%	4,571	11.3%
その他	1,343	△3.9%	1,350	0.6%
合計	155,412	2.8%	165,775	6.7%

■ セグメント利益

単位：百万円

	19年3月期		20年3月期	
	2Q累計実績	伸率	2Q累計実績	伸率
リース・割賦事業	7,052	0.7%	7,310	3.7%
金融サービス事業	1,960	9.4%	2,130	8.7%
その他	103	△8.2%	219	111.5%
合計	9,116	2.3%	9,659	6.0%

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、リコーグループ内での融資、ファクタリング、国内キャッシュ・マネジメント・システムの運営、および太陽光発電施設の運営等を含む

本資料の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。

<お問い合わせ先>

リコーリース 株式会社

RICOH LEASING COMPANY, LTD.

経営企画部

Tel : 03-6204-0608
Email : ir@rle.ricoh.co.jp
URL : <http://www.r-lease.co.jp>